



いちばん大きい 恐竜は何なの

巨大なしっぽと太ももの化石が出現

今までに発見された恐竜の中で、いちばん大きいのは、1979年、アメリカのニューメキシコで見つかった、セイズモサウルス（地震竜）という名の恐竜です。

この化石は、大昔は川底だった場所で発見され、しっぽと太ももの骨の一部を、元の形に組み立てることができました。この大きさから、全体を計算すると、頭からしっぽまで40メートル以上、肩までの高さは5.5メートル、体重は54～90トンぐらいになりそうです。しかも、まだ、子どもの恐竜らしいということで、もっと大きくなると考えられます。

頭からしっぽの先まで、約50メートル

この大きさは、同じ仲間に入る首の長いブラキオサウルスが、頭からしっぽまで、およそ23メートル、ディプロドクスが、およそ27メートルというのと比べても、巨大な恐竜ということになります。また、全体の骨がほり出されていないので、正確な大きさは、はっきりしませんが、成長したら50メートルぐらいにはなりそうです。

化石のあった地層は、今から1億5000万年前のジュラ紀のものでした。この恐竜は、首が長く、4本足で歩き、集団で、親が子どもを守って生活していたらしい、と考えられています。（監修・今泉 忠明）

